

デービッド・アトキンソン  
新・生産性立国論 人口減少で「経済の常識」が根本から変わった

# 新・デービッド・アトキンソン 生産性立国論

人口減少で **シリーズ17万部!**  
「経済の常識」が根本から変わった  
日本に「労働者の黄金時代」  
が訪れる。「労働者の質」はトップレベル  
「無能な経営者」こそ問題だ

東洋経済新報社

発売日: 2018年2月23日  
出版: 東洋経済新報社  
著者: デービッド・アトキンソン  
ページ: 283  
PDF

猫も杓子も生産性、でもほとんどの議論は間違いだ！

『新・観光立国論』（山本七平賞）で日本の観光政策に多大な影響を与えた筆者が、今度は34年間の集大成として「日本経済改革の本丸＝生産性」に切り込みます。

読めば納得、目からウロコ、歯に衣着せぬ「アトキンソン節」、全開！

【本書の内容】

- ・「良いものをより安く」が国を滅ぼす
- ・日本企業の数「いまの半分」でいい
- ・最低賃金を上げて「経営者」を追い込むべし
  - ・かつて「人口が半減した国」に学べ
  - ・「女性優遇」では生産性は上がらない
- ・生産性を高めないのは「親を見殺しにする国」になる道 他

：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：

日本人は「生産性」と「効率性」を混同しています。  
たとえば、誰も求めている商品を「効率よく」つくることは可能です。  
しかし、売れない以上、「生産性」はゼロです。  
生産性のないもののことを、無駄と呼ぶのです。  
デービッド・アトキンソン

：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：

【主な内容】

はじめに

- 第1章 人口減少は「生産性」向上でしか補えない
  - 第2章 「生産性」を正しく理解し、目標を立てよう
  - 第3章 「高品質・低価格」という妄想が日本を滅ぼす：改革のポイント1
  - 第4章 「女性」をどうにかしないと生産性は上がらない：改革のポイント2
  - 第5章 奇跡的に「無能」な日本の経営者たち：改革のポイント3
  - 第6章 国がとるべき「3つの生産性向上策」
  - 第7章 企業が生産性を上げるための「5つのドライバー」と「12のステップ」
- おわりに

<https://k2s.cc/file/74a2bdeb1d923/GQxYfoj0C.pdf.rar>